

三位一体後第二〇主日礼拝
 説教『神が合わせられたものを知る』
 山根眞三師
 司会 根角 静香さん
 奏楽 栗原 登志子さん
 招詞 IIコリント人への手紙 3章6節
 主の祈 (564)
 讃詠 5 4 6
 交読詩編 詩106編1~23節
 祈禱
 讃美歌 21 - 1 5 3
 使徒信条 (566)
 聖書 マルコ福音書10章1節~12節
 説教 (口語訳67頁、新共同訳80頁)

『神が合わせられたものを知る』
 祈禱
 讃美歌 5 0 6
 献金
 感謝報告 5 4 2
 祝禱
 後奏

次週の礼拝(三位一体後第二一主日礼拝)
 説教『神の完全を身に帯びなさい』
 マタイ福音書 5章38節~48節
 招詞 エペソ書 6:10~18、交読詩篇106編
 讃美歌546、243、21-392、543/24~48節

礼拝当番
 今週 13日 司会 根角さん 献金 吉丸さん
 次週 20日 司会 高橋さん 献金 剛家さん
 会堂清掃奉仕 10月18日(金)
 午後4時~ めぐみ幼稚園保育者

本日の集会

★教会学校 午前9時45分
 ★コーヒータイト 礼拝後~
 それぞれの思いを語り合しましょう。

今週の集会/スケジュール

§四国障害者キリスト伝道会修養会 10月14日(月)
 13:00~15日(火)12:00 会場:道後友輪荘
 §広島西分区定例牧師会 10月15日(火)14:30~
 会場:広島観音町教会
 §広島拘置所教誨奉仕 10月16日(水)13:30~16:00
 施設にある方の信仰生活を覚えてお祈り下さい。
 ※めぐみ幼稚園礼拝 10月18日(金)10:30

次週以降のスケジュール等

★『障害者と教会』問題を考える集い・分区信徒大会
 10月20日(日)14:30~ 会場:東広島教会
 テーマ『精神保健の現場に身を置いて感じ考えた
 教会問題』講師:濱田裕三牧師(東広島教会)
 ★聖書を読む会(新設) 10月22日(火)10:30~
 ※めぐみ幼稚園芋ほり遠足 10月25日(金)9:30~
 ★牛田墓苑合同礼拝・交流会 10月26日(土)14:30
 墓苑礼拝後個々のお墓の清掃等と見学をします。
 ※学校法人広島西部教会学園理事会・評議委員会
 10月27日(日)13:30~ 三階和室会議室
 ●レコードコンサート 10月27日(日)13:00~15:30
 ベートーヴェン 交響曲第一番ハ長調/第二番ニ長調
 ブラームス 交響曲第二番ニ長調Op73
 ♪ヒロシマハンドベルリングズ庄原市役所ロビー
 コンサート 10月28日(月)12:30~

◎教会役員会報告 1. 月一回聖書を読む会実施
 2. 合同のとらえなおし出前講座を依頼する。
 ●礼拝司会 10/20 高橋さん、10/27 吉丸さん、
 11/3 市川さん、11/10 根角さん、11/17 神笠さん、

先週の集会	男	女	計
教会学校	0	0	0
主日礼拝	4	8	12

◇今週の説教要旨(三位一体後第二〇主日礼拝)
 『神が合わせられたものを知る』マルコ福音書10章1~12節
 広島市民が最も喜ぶべきこと、それは被団協がノ
 ーベル平和賞を受賞したことでしょうか。このこと
 を通して政府が核兵器禁止条約の署名へと進むこと
 を心から願う。総理が石破さんに代わり、衆議院総
 選挙に突入。密かに期待している。石破総理なら署
 名するかも。ただ自民党総裁選ではあれほど話題
 になった選択的夫婦別姓がすっかり話題にならな
 くなったことだ。自民党の中には古い人間関係に支配
 されている実態を知る思いだ。そこにはどうしても
 男中心の思想が潜んでいる。そんな考えは、ユダヤ
 社会の中心的な発想でもあった。イエスのことを試
 そうと挑発してくるテーマ。それによって人の生き
 方の姿が見えてくるものだ。単に一人の人の興味や
 考えではなく、ここではパリサイ人のグループによ
 るものだった。本当にこの時代の大きな問題を示さ
 れる。このことは、同時に私達自身が注意しなければ
 ならないことだろう。社会の流れ、風潮に影響さ
 れてしまわないように。夫は離縁状すらかけば妻
 を離縁することが出来る。当時の男社会の一方的な
 姿すら律法によって正当化されるものだと。イエス
 ここで明確に律法すら批判し、人が人として生きる
 こと、歩むことの大切さを示した。イエスのこれら
 の言葉によって離婚を禁止している教会があるが、
 それはそれでまた人間関係を狭めてしまう危険があ
 る。イエスのこの言葉を禁止条項を表すものとして
 ではなく、もっと積極的な人間関係を表す言葉、教
 えとして見つめてみたい。人は様々な出会いの中か
 ら生きること、生活することを共にする人を得る。
 それらの出会いを神の創造の働きの一環として信
 じていることがイエスによって求められている。それは単
 に個人的な出会いだけではなく、私達が共同体、教
 会で出会う出会いそのものも神様の創造働きとして
 信じていることが出来るようになりたいもの。心から。